



高木 広和 議員

琵琶湖岸の景観や
自然環境の保全及び
ゴミについて

琵琶湖を大切に
する意識を高める
ことが大切だと思
うが
市の考え方は？

「守る、育てる、活用する」この3つが大切です。

問 琵琶湖岸の景観や自然環境を観光資源として活用することの重要性は。

答 環境部長

本市は約35kmに及びます琵琶湖岸を有しており、湖岸にはヨシ原、湖岸林、砂浜、石垣など多様性に富んだ環境があり、生物の生息空間、水質浄化の上からも重要な地域です。日本遺産の歴史的経緯や風習等を踏まえたストーリーともなっており、豊かな自然景観を求めて、市内外から多くの観光客が来訪され、将来にわたり大切に保全しながら次世代に継承すべき、重要な観光資源です。

問 観光素材のPRを兼ねたごみポイ捨て禁止の啓発看板を設置するなど、高島らしい啓発を考えることや、市民全体で琵琶湖を大切にすることが大切だと思いが市の考え方は。

答 環境部長

今年の3月に県において「琵琶湖保全再生施策に関する計画」が策定され琵琶湖と周辺の景観を保全するには「守る、育てる、活用する」この3つが大切であると認識しています。

問 35kmに及ぶ湖岸の保全については、市民と行政が協働して守っていく必要があると思うが、今後の進めかたは。

答 環境部長

湖岸を含めました本市の豊かな景観や自然環境は、市の最大の魅力であると感じています。湖岸におけるポイ捨てについては景観の素晴らしさを訴えながら

利用者のマナーの向上が図れますように観光サイドとも連携をし、工夫した看板の設置なども考えて参りたいと思います。本市には数多く、非常に広大な面積の自然公園があり行政だけでは適正に保全していく事は非常に困難であります。市民をはじめ各種団体等皆さんのご協力を得ながら協働連携を図りまして市としての役割を果たして参りたいと考えています。

その他の質問

● 団体競技の誘致に向けた取り組みについて

